

1. 平成 30 年度事業計画

横浜市若葉台地区センター 平成 30 年度 事業計画及び収支予算

1 施設の概要

施設名	横浜市若葉台地区センター
所在地	横浜市旭区若葉台三丁目 4 番 2 号
構造・規模	鉄筋コンクリート造、地上 13 階建、1・2 階部分
敷地・延床面積	専有面積 1,589 m ²
開館日	昭和 58 年 2 月 15 日

2 指定管理者

法人名	一般財団法人 若葉台まちづくりセンター
所在地	横浜市旭区若葉台三丁目 5 番 2 号
代表者	理事長 森本 敏昭
設立年月日	昭和 53 年 9 月 26 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る考え方

(1) 管理運営について

若葉台団地の人口は平成 4 年の 2 万 1 千人弱をピークに人口の減少が進み、平成 27 年 3 月では 1 万 5 千人を下回りました。また高齢化率が 41% と高い地域です。

このような状況下でありながらも、ここ数年、高齢者だけでなく、幼児・小学生の利用も増えています。

幅広い年齢層の方が自主的活動や相互交流、地域コミュニティの場としてどなたでも気持ち良く利用できる地区センターを目指して、下記のような取り組みを行います。

① ご利用しやすい環境づくり

指定管理者と館長・副館長との定期会合及びスタッフ会議で、運営上各スタッフが気づいたこと、ご利用者の声等を共有してスタッフのスキルアップを図ります。

- ・スタッフ一同、明るい挨拶でお客様をお迎えし、ご利用者とのコミュニケーションを図ります。

- ・作業スタッフによる日常清掃の他、コミュニティスタッフによる清掃で館内の清潔な環境を保ちます。

- ・ご利用者に対し、利用者会議及びアンケートによる意見・要望をお聞きし、対応できることについては、速やかに対応していきます。

② 幅広い自主事業展開

幼児から高齢者まで幅広い層で楽しめる事業の企画を行い、地域住民のコミュニティの醸成及び趣味の幅を広げることによる新たな生涯学習推進の一助としていきます。

地域と連携して、子育て世代の方が参加しやすいように保育サービスを開始します。

③ 地域団体との連携

地元地域団体の発表会や若葉台全体の防災訓練等、地域事業における地区センターの活用を推進します。また、野外事業への備品貸出し等で地域事業にも協力していきます。

- ④ 地域施設との連携
地域の施設や商店街と連携して事業を実施し、参加します。
- ⑤ ひらかれた施設運営
利用者からの意見・要望についてはすみやかに回答することを心掛け、要旨については同様にホームページ等で公開し、利用者の皆様と双方向の交流を進めます。
- ⑥ 住民参画の推進
多様な人材が豊富な若葉台地区の特性と当まちづくりセンターの人脈を活用し、自主事業における講師等の地域内住民を招聘する等、住民同士の新たな接点を創出します。
- ⑦ 個人情報保護について
「個人情報の保護の法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を尊守し、個人情報を適正に取り扱います。

(2) 自主事業の実施について

申込状況やアンケート結果の過年度推移等を参考にして利用者のニーズを把握するとともに、利用状況や稼働率を分析して計画立案の方向性を検討します。継続実施の適否については、単に人気の有無だけでなく内容を個別に精査して判断します。

地域に様々な技能や知見をお持ちの方が大勢お住まいなので、そういった人材を活用することにより、地区センターだからこそ実施可能な相互交流を深めていくこととします。

団地内を総合的に管理している当まちづくりセンターの強みを活かし、地域の商店街と連携した事業をさらに発展させて魅力的な事業を展開するとともに、地域団体や地域のイベントに協力して若葉台と一緒に盛り上げていきたいと思います。

4 施設の運営に関する業務計画

(1) 開館日数

345 日（休館日：月 1 回の設備点検日、年末年始休館 8 日）

(2) 目標稼働率（利用可能枠数に対する稼働率）（過去 3 年間の稼働率を基に算出）

中会議室 55%、料理室 15%、和室 50%、工芸室 55%、体育室 90%

(3) 人員配置

項目	人 数	備 考
館 長	1	
副館長	2	
コミュニティスタッフ（補助指導員含む）	13	
コミュニティスタッフ（作業担当）	2	

(4) 勤務体制

基本：早番（8:45～16:45）2名、遅番（13:15～21:15）2名

（館長、副館長、補助指導員を含め 4 名でのローテーション制）

コミュニティスタッフは 13 名体制。午前（9～13）4 名、午後（13～17）4 名、夜間（17～21）4 名 補助指導員 1 名

コミュニティスタッフ（作業担当）（8:00～11:00）2 名

5 施設の管理に関する業務計画

(1) 実施業務

業務内容	実施者
清掃業務	再委託により実施
空調設備保守管理業務	再委託により実施
給湯ボイラ一点検業務	再委託により実施
非常警報装置点検業務	再委託により実施
自動ドア保守点検業務	再委託により実施
害虫駆除業務	再委託により実施
建築設備定期点検業務	再委託により実施
エレベーター保守点検業務	再委託により実施

※保守管理業務年間予定表・・・別紙のとおり

(2) 緊急時対策

職員の緊急連絡網により、緊急時には職員間の連絡とともに旭区地域振興課及び病院、旭警察、旭消防署等の各機関とも速やかに連絡がとれる体制にします。

(3) 防犯・防災に関する事項

防犯・防災については、24時間対応の若葉台防災センターがあり、緊急時に対応します。また、防災訓練は、年2回実施します。

6 自主事業に関する業務計画

(1) 自主事業の概要

提案書 様式3を利用（詳細は様式4を利用）

7 収支について

<収支予算書>

項 目	予 算 額	備 考
収 入		
指定管理料収入	40,691,000	協議の結果に基づく
利用料金収入	2,200,000	※平成28年・29年の実績に基づいた金額を計上しています。
事 業 収 入	1,693,000	
そ の 他 収 入	720,000	
合 計	45,304,000	
支 出		
人 件 費	21,375,000	4(3)に基づき配置
事 務 費	3,142,000	消耗品、備品費、図書費、リース料等
事 業 費	2,143,000	6に基づき実施
管 理 費	14,194,000	5に基づき実施、光熱水費、保守点検等
ニーズ対応費	750,000	利用者のニーズにより実施
公租公課	1,900,000	消費税
事務経費	1,800,000	
合 計	45,304,000	
収 支 計	0	

※ 収支予算の詳細は別紙参照

自主事業計画書(平成30年度)

様式3

施設名 横浜市若葉台地区センター
(単位:円)

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり 参加費	④実施時期 ⑤回数	自主事業予算額				
			総経費	収入		支出	
				指定管理料	参加費	講師謝金	材料費等
KARADAいきいき講座 リフレッシュ体操 中級コース 第1期～3期	①一般 ②40名 ③各2800円	④4～3月 ⑤各7回	336,000	0	336,000	210,000	0 126,000
KARADAいきいき講座 リフレッシュ体操 上級コース 第1期～3期	①一般 ②60名 ③各4400円	④4～3月 ⑤各11回	792,000	0	792,000	330,000	0 462,000
KARADAいきいき講座 ヨガ 第1期～3期	①一般 ②25名 ③各3000円	④4～3月 ⑤各6回	207,000	0	207,000	180,000	0 27,000
バドミントン教室	①小学生以上 ②20名 ③100円	④4～3月 ⑤12回	132,000	108,000	24,000	120,000	0 12,000
卓球教室	①小学生以上 ②各20名 ③100円	④4～3月 ⑤12回	93,000	69,000	24,000	84,000	0 9,000
チョットヨッテミニ座 笑って元気寄席	①中学～一般 ②各40名 ③無料	④6・1月 ⑤2回	16,000	16,000	0	16,000	0 0
親子で楽しむ!野菜作り～種まきから収穫まで～	①未就学児と保護者 ②10組 ③2500円	④8月～12月 ⑤8回	30,000	5,000	25,000	30,000	0 0
男の料理教室～初級から中級編～1～3期	①一般男性 ②12名 ③各4000円	④4～3月 ⑤各4回	160,000	16,000	144,000	72,000	72,000 16,000
ヘアアレンジとゆかたの着付け(夏祭り)	①中学～女性 親子も可 ②5名 ③600円	④7月 ⑤全1回	18,000	15,000	3,000	16,000	0 2,000
エジョえじょフェスタ センターまつり	①どなたでも ②どなたでも ③無料	④9月 ⑤1回	70,000	70,000	0	0	0 70,000
グラウンドゴルフ大会	①地域老人会 ②80名 ③未定	④10月 ⑤1回	10,000	0	10,000	0	0 10,000
秋の味覚芋ほり	①幼児～一般 ②20名 ③500円	④10月 ⑤1回	23,000	13,000	10,000	0	20,000 3,000
ATAMAいきいき講座 第4回健康マージャン大会	①一般 ②40名 ③800円	④12月 ⑤1回	40,000	8,000	32,000	10,000	0 30,000
囲碁大会	①小学生から ②48名 ③800円	④1月 ⑤1回	45,000	21,000	24,000	5,000	0 40,000
将棋大会	①小学生から ②20名 ③800円	④1月 ⑤1回	40,000	24,000	16,000	10,000	0 30,000
合計			2,012,000	365,000	1,647,000	1,083,000	92,000 837,000

自主事業計画書(ワンパクホリデー)(平成30年度)

様式3

施設名 横浜市若葉台地区センター
(単位:円)

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり 参加費	④実施時期 ⑤回数	自主事業予算額					
			総経費	収入		支出		
				指定管理料	参加費	講師謝金	材料費等	その他
青少年指導員連絡協議会 主催 ペットボトルロケット大会	①小学生親子・中学生	④7月	17,000	9,000	8,000	0	9,000	8,000
	②16組							
	③500円	⑤1回						
お菓子作り	①小学生	④7月	18,000	10,000	8,000	6,000	10,000	2,000
	②16名							
	③500円	⑤1回						
夏休み木工教室	①小学生	④8月	10,000	0	10,000	0	0	10,000
	②20名							
	③500円	⑤1回						
人の話をよく聞く子を育てる！わかば読み聞かせ隊！	①未就学児	④奇数月	12,000	12,000	0	0	0	12,000
	②どなたでも	第3土曜日						
	③無料	⑤6回						
BABYピラティス	①赤ちゃんと保護者	④毎月	56,000	36,000	20,000	50,000	0	6,000
	②4組	8、3月除						
	③500円	⑤10回						
ぱぴプレ音楽工房	①未就学児	④12月	18,000	18,000	0	18,000	0	0
	②100名							
	③無料	⑤1回						
合計			131,000	85,000	46,000	74,000	19,000	38,000

自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
KARADAいきいき講座 リフレッシュ体操 中級コース 1期～3期	骨盤矯正や音楽に合わせて動いて、心身をリフレッシュさせる。ウォーキング中心で、普段使わない筋肉を使う。	4～3月 各7回 一般 40名
KARADAいきいき講座 リフレッシュ体操 上級コース 1期～3期	骨盤矯正や音楽に合わせて動いて、心身をリフレッシュさせる。インナーマッスルを強化して体を引き締める。運動に慣れている方向け。	4～3月 各11回 一般 60名
KARADAいきいき講座 ヨガ 1期～3期	ヨガを通じて健康づくりをする。	4～3月 各6回 一般 各25名
バドミントン教室	基礎から学べる。レベルに応じた指導	4～3月 12回 小学生～一般 各20名
卓球教室	卓球マシンを使っての打ち込み練習。ひとり150球を打ち込んでいき、先生にフォームも見てもらう。	4～3月 12回 小学生～一般 各20名
チョットヨッテミテ座 笑って元気寄席	気軽に笑って楽しめる場を設け、地域の方々に地区センターを身近に感じてもらう。高齢化の進む若葉台で笑いを通して「元気」を提供。	6・1月 2回 中学生～一般 各40名

自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で楽しむ！野菜作り！～種まきから収穫まで体験しよう～	畑の作業を学ぶ 作る楽しさと、収穫の喜び、収穫したものをみんなで食べます。	8～12月 全8回 未就学児と保護者 一般もOK 10組
男の料理教室 ～初級から中級編～	スーパーで手に入る食材・調味料で作る和食。 料理2～3品+ご飯。 家庭で使えるコツを学びます。	4～3月 全12回 一般男性 12名
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘアアレンジとゆかたの着付け 若葉台かわチャースクールとの共催事業	自分で浴衣を着られるようにする。 子供に着せたい！親子で参加も可。 ヘアアレンジを学ぶ。 日本文化の継承。 夏祭りにあてて、地域事業を盛り上げる一助とする。	7月 全1回 中学生～一般女性 親子で参加も可 5名
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エジョえじょフェスタ センターまつり	地区センターを利用している団体の作品展示・発表など	9月 どなたでも
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
グラウンドゴルフ大会	若葉台10自治会老人クラブのグランドゴルフ同好会を中心に大会を行い、交流を図る。	10月 1回 若葉台10老人会 80名
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
秋の味覚芋ほり	若葉台特有の地域性を生かし、近隣の畠まで散歩し、芋ほりをして季節を感じる。また現地では、収穫した芋の試食をして、楽しむ。	10月 1回 幼児～一般 20名

自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
A T A M A いきいき講座 第4回健康マージャン大会	第4回マージャン大会	12月 自分で点数申告 ができる方 30名
囲碁大会	趣味の囲碁を通して、交流を図る	1月 1回 小学生～一般 48名
将棋大会	趣味の将棋を通して、交流を図る	1月 1回 小学生～一般 20名
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
事業名	目的・内容等	実施時期・回数

自主事業別計画書（ワンパクホリデー）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
青少年指導員連絡協議会主催 ペットボトルロケット大会	ペットボトルで作ったロケットの飛距離を競う。	7月 1回 小学生親子・中学生 16組
お菓子作り	料理の楽しさを味わい、異年齢の友達と協力しあって調理することにより、友達の幅を広げる。	7月 1回
夏休み木工教室	木片を使って木工作品をつくるとともに、大工道具の扱いにも慣れる。	8月 1回 小学生 20名
人の話をよく聞く子を育てる！わかば読み聞かせ隊！	わらべうたや絵本・紙芝居の読み聞かせ、手遊びなど	奇数月第3土曜日
B A B Yピラティス	同じ境遇の人たちと一緒におしゃべりしたり、赤ちゃんとの触れ合いを通して産後の疲れた体をほぐして心を癒す	8月、3月を除く 毎月第三木曜日 生後1ヶ月～1歳までの赤ちゃんと保護者 4組
ぱぴプレ音楽工房	親子で楽しめる、人形劇や絵本、音楽をミックスしたプログラム	12月 1回 未就学児 100名

平成30年度 「横浜市若葉台地区センター」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	40,691,000		40,691,000		40,691,000	横浜市より
利用料金収入	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,693,000		1,693,000		1,693,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	720,000	0	720,000	0	720,000	
印刷代	350,000		350,000		350,000	
自動販売機手数料	365,000		365,000		365,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（資源ごみ等）	5,000		5,000		5,000	
収入合計	46,019,000	0	45,304,000	0	45,304,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,375,000	0	21,375,000	0	21,375,000	
給与・賃金	19,550,000		19,550,000		19,550,000	
社会保険料	1,465,000		1,465,000		1,465,000	健康保険料・厚生年金保険料・児童手当拠出金・労災保険料
通勤手当	110,000		110,000		110,000	
健康診断費	250,000		250,000		250,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	3,142,000	0	3,142,000	0	3,142,000	
旅費	15,000		15,000		15,000	
消耗品費	900,000		900,000		900,000	
会議賄い費	60,000		60,000		60,000	
印刷製本費	20,000		20,000		20,000	
通信費	600,000		600,000		600,000	
使用料及び賃借料	200,000	0	200,000	0	200,000	
横浜市への支払分	76,000		76,000		76,000	
その他	124,000		124,000		124,000	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	300,000		300,000		300,000	
施設賠償責任保険	15,000		15,000		15,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	857,000		857,000		857,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	60,000		60,000		60,000	
事業費	2,143,000	0	2,143,000	0	2,143,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	2,143,000		2,143,000		2,143,000	
自主事業費	0		0		0	
管理費	14,194,000	0	14,194,000	0	14,194,000	
光熱水費	7,445,000	0	7,445,000	0	7,445,000	
電気料金	2,245,000		2,245,000		2,245,000	
ガス料金	4,900,000		4,900,000		4,900,000	
水道料金	300,000		300,000		300,000	
清掃費	518,000		518,000		518,000	
修繕費	550,000		550,000		550,000	
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	1,778,000	0	1,778,000	0	1,778,000	
空調衛生設備保守	315,000		315,000		315,000	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000		50,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	1,413,000		1,413,000		1,413,000	給湯ボイラー・自動ドア・非常用放送設備・建築設備・第三者評価
共益費	3,903,000		3,903,000		3,903,000	
公租公課	1,900,000	0	1,900,000	0	1,900,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,885,000		1,885,000		1,885,000	
印紙税	15,000		15,000		15,000	
その他（）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000	
本部分	1,800,000		1,800,000		1,800,000	
当該施設分	0		0		0	
二ニズ対応費	750,000		750,000		750,000	
支出合計	45,304,000	0	45,304,000	0	45,304,000	
差引	715,000	0	0	0	0	
自主事業費収入	1,693,000		0		0	
自主事業費支出	2,143,000		0		0	
自主事業取支	△ 450,000		0		0	
管理許可・目的外使用許可収入	365,000		0		0	
管理許可・目的外使用許可支出	76,000		0		0	
管理許可・目的外使用許可取支	289,000		0		0	

平成 30 年度若葉台地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	1. 利用者会議の開催及び利用者アンケートの実施（各年 1 回以上）及び意見箱の設置（常設）			
	2. 意見、要望、苦情に対し、その対応可否については掲示板やＨＰで公表する。施設改善等の意見、要望、苦情に対しては、その改修の必要性・費用を考慮して地区センター委員に諮る。			
	3. 地区センター委員会を開催し、情報収集や意見集約を図る。(年 3 回)			
	4. 事務室会議（月 1 回）とスタッフ会議（2 カ月に 1 回）を開催し、スタッフの意識向上を図る			
	5. こどもの意見を聞くために、アンケートの実施と「こども会議」を開催する。			
業務運営	1. 30 年度は以下を目標とする。 ①個人利用人数は、29 年度比 100% ②稼働率は、29 年度比 100% ③利用料金収入は、29 年比 100%			
	2. 自主事業 ①地域住民の年齢層に対応した事業（14 事業、目標参加率 7 割） ②子育て世代のための親子参加型事業（3 事業、目標参加率 4 割） ③地域団体と連携した事業（4 事業、目標参加率 7 割） ④商店街と連携してイベントに協力・参加 ⑤「わかば子育てサポートグループ」と連携して保育サービスの開始			
	3. 人員体制 ①館長（もしくは副館長）及び補助指導員は開館中常時 1 名在館 ②コミュニティスタッフは常時 2 名体制			
	4. 緊急時の対応訓練 ①若葉台合同防災訓練（年 1 回）			

	②地区センター避難訓練及びA E D訓練（年1回） ③非常用発電機の取り扱い訓練（スタッフ会議時） ④少人数での避難訓練（スタッフ会議時）			
職員育成	1. 職員研修 ① 新人職員研修（全体研修及び個別研修）（5日間） ② 繼続職員向け研修（新年度に向け共通認識）（年1回） ③ 中間期確認研修（年1回以上）			
	2. 個人情報取扱研修 ① 個人情報取扱特記事項にある研修（年1回）を実施し、誓約書の提出 ② 機密保持法令遵守制約書の提出			
財務	① 自販機設置 ②			
その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)	①第三者評価を受ける ②HPのウェブアクセシビリティ対応の実施（試験を除く）			
利用者等の意見				

《自己評価》

- A : 計画、目標を上回って実施
- B : 計画、目標を保持して実施
- C : 計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載